

2021年度秋季大会報告

チャレンジ支援委員会「わかばさんいらっしやい」報告書

チャレンジ支援委員：天野、黒田、鈴木、濱田、家根橋、吉川

2021年11月27日 12:00-13:00 オンライン開催

「わかばさんいらっしやい」は本大会1日目の12:00-13:00にオンラインで開催されました。初めて大会に参加する「わかばさん」を主な対象として、初参加の不安を取り除き、大会を楽しむコツを押し、え、「わかばさん」同士のネットワークを築く機会の提供を目指しました。

10月中旬から YouTube で「わかばさん」向けのオリエンテーション動画を公開し、大会の概要、参加登録の方法、視聴する発表の選び方、予稿集の活用、質問の方法などについて、「わかばさん」に紹介しました。オリエンテーション動画は、大会終了までに742回のアクセスがありました。

大会初日の「わかばさんいらっしやい」には、日本語教育に携わり始めたばかりの方や、大会参加が初めての方など、6名の参加者がありました。まず、オリエンテーション動画の内容を簡潔に復習した後に、質疑応答の時間を設けました。同じ時間帯に予定されている複数のオンライン発表の間を移動するタイミングなどについて、参加者から質問がありました。

その後、参加者2~3名とチャレンジ支援委員1名からなる2グループに分け、「わかばさん交流会」を実施しました。約40分間で、各参加者の本大会への参加目的、一番聞きたい発表、現在取り組んでいる研究活動や教育実践、研究上の興味・関心、大学院進学後の研究テーマなどについて語り合いました。参加者の間で接点を見つけて、お互いに励まし合いながら、和気あいあいと交流することができました。「わかばさん交流会」の時間帯になってから参加した「わかばさん」には、委員が個別に質問を受け付けて対応しました。



参加者による事後アンケートでは、オリエンテーション動画の視聴を通じた大会の理解や開催した時間帯の適切さなどについて、肯定的な評価が得られました。「わかばさん交流会」もたいへん好評で、「これまで質問しづらい内容を気軽に聞くことができた」「それぞれの研究計画など、参考になり、励みにもなった」「同じ日本語教育という研究分野でも



色々な方面での研究があることが知れて面白かった」「修士課程の学生や、これから日本語教育の分野に進む方々との交流ができ、大学の先生や学生などと話すときには聞けないような話が聞けてとても楽しかった」「みな多様なバックグラウンドを持っていて、何故日本語教育を学んでいるかや、過去の経験から感じたこと・問題視していることなどを共有できとても有意義な時間だった」といったコメントが寄せられました。

今回知り合った「わかばさん」たちは、いつか大会や支部集会で再会することができるでしょう。また、将来的に一緒に研究や実践に取り組む仲間と出会えたかも知れません。「わかばさん」たちにとって、「わかばさんいらっしやい」が日本語教育学へ向かうスタートラインとなることを願っています。